

デザート・レシピ

さて、これで「ぼくらのコーラスレシピ」が終わると思ったら大間違い。これなしには語れないボーナストラックを付け加え、いよいよコンプリート！

★ Doo-wop ノススメ★

まだハモネブもボイパもない頃「好きにグループを組んで発表する」という高校生の授業で、ある女の子がカセットテープを差し出した。「6曲目、これが歌いたい！」。テープの中身は山下達郎の一人アカペラ・アルバム“On the Street Corner”。採譜して歌ってみると、シンプルなリズムとハーモニーに乗った“Remember Me Baby”が、女の子の澄んだソロ・ボーカルのリードで心地良く響いた。こいつはイケる！

翌年の文化祭、その子をメインボーカルにした有志 Doo-wop コーラスグループが校内あちこちの On the Street Corner で所狭しと歌いまくった。アップテンポの曲を歌うと、聴いていたおばあちゃんがサンダルを脱ぎ捨てて踊り始めた。

それから 25 年……。有志、音楽選択者など、数え切れないグループが歌い継ぎ、Doo-wop は文化祭にはなくてはならない名物となった。

もともと、楽器が買えない、ならば声で楽器のパートもやっつけてしまおう、と街角で歌われ始めた Doo-wop だが、凝りに凝った山下氏の多重録音ひとりアカペラはそう簡単に楽譜にできるようなシロモノではない。今回、恥を忍んで、あえて 25 年前から学校で使っている DENCHU 手書き耳コピー楽譜をそのまま載せることにした。大変読みにくく、省略も多い不完全な楽譜だが、山下氏の CD をお手本に Doo-wop の真髄に浸ってみてほしい。

◀もうひとつのぼくらのコーラスレシピ▶

教師になりたてホヤホヤの頃、中学 2 年の音楽授業で「どんな音楽が好きなの？ 歌って聴かせてよ」と苦し紛れに生徒に投げかけたことがあった。シャイな 14 歳はそんな時、そうやすやすと人前に出て歌ったりはしないことも、まだよくわかっていない。そんな雰囲気を通して、3 人の男の子がギター片手に出てきてオフコースの「さよなら」をハモリながら見事に歌った。その時のことはまるでビデオの映像を見るように、教室の明るさ、3 人が座った位置まで鮮明に記憶に焼きついている。その中の一人が、後に宇宙飛行士になった星出少年、そして宇宙飛行士になった友人に捧げる歌「ロボットアームで抱きしめて」を作曲した埴少年だった。

「ロボットアームで抱きしめて」誕生物語

埴 裕介 著

「♪宇宙なんて～あんがい近いもんさ～」2008 年 6 月、「ロボットアームで抱きしめて」が NASA より宇宙へ届けられた。その様子は世界中へ配信され、日本でもニュース番組で大きく報じられた。私はテレビから流れる自分の歌声をぼんやりとした気持ちで聴きつつ、今この瞬間、400km 頭上を漂っている友人に想いを馳せた。

「星出彰彦」とは中学時代、寮生活で寝食を共にした言わば「同じ釜の飯を食った」間柄。つまり、友人の壮大な門出を祝う歌を作ろうって話だった。同級生だった友人が書いてくれた詞に私がメロディをつけた。作曲に要した時間はわずか 15 分。中学時代に寮でギターをかき鳴らしながら、星出と一緒に歌っていたのを思い出し、その頃のノリそのまま作ってしまった。

数日後、星出本人のみならず、大勢の人たちに聴いてもらいたいと思った私は、ひとまずネット上で曲を公開してみた。すると、意外な展開が待っていた。「曲が誕生するプロセスに共鳴する」「この素晴らしい楽曲づくりに参加したい」聴いた人々からたくさんの声が届いた。

そこから先、曲は私の手元を離れ成長していった。イメージに合わせてイラストを描いてくれる人、それを使った動画の制作をしてくれる人、さらには、あの SF 漫画の巨匠、松本零士氏の賛同も得て「999」や「メーテル」といった単語を詞の中で使用する許可も頂いた。星出は少年期に、松本氏の数々の作品から多大なる影響を受け、「宇宙へ憧れるきっかけを貰った」と今もなお公言している。

その後も応援歌づくりの参加者は増え続け、日々手直しが加えられていった。その進化の過程は国際宇宙ステーションにさまざまな国のモジュールが合体し大きくなってゆく姿さながらであった。

いよいよ打ち上げを間近に控えた星出の元に DVD を送ると、彼は私に「歌は上（宇宙）に持っていきよ」とだけ言葉を残し、スペースシャトルに乗って飛び立っていった・・・。

数日後、星出がロボットアームを使った最も重要な任務を背負った日の朝、ウェイクアップコールとして僕らの歌が NASA よりスペースシャトルに向けて流された。テレビでは繰り返しこの様子が報道され、新聞各紙に「星出宇宙飛行士、同級生の歌でお目覚め」の文字が躍った。

ここまで来ると、もはや驚きを通り越し、まったくピンと来ないスケールの話だった。そんなことよりも、友人がこの歌をとっても大切に扱ってくれた優しい心遣いだけが、私の心には残った。

どうですか。茗溪学園のもうひとつの魅力、伝わりましたか。（田代）



「デンチューこと、田中先生」のコラムの 2 回目です。田中先生がキッカケを作り、生徒達全体がそれを定着させていった、茗溪学園のコーラス。星出先輩と共に、宇宙にまで広がりました。Doo-Wop を是非一度！

ところで、この本の初版が、マイケル・ジャクソンのお陰でプレミアム付の大人気とのこと。詳細は、infoe.com の「INFOE-MAIL」お読みください。